

平成25年度

公益財団法人宮崎文化振興協会

事業計画書

公益財団法人宮崎文化振興協会

目 次

平成25年度事業計画書

基本方針	1
事務局経営戦略課	5
宮崎科学技術館	7
宮崎市歴史資料館	15
・みやざき歴史文化館	16
・宮崎市佐土原歴史資料館	19
・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館	21
大淀川学習館	23
宮崎市民プラザ	35

平成25年度事業計画書

基本方針

当協会は、平成24年3月19日宮崎県知事から移行認定を受け、平成24年4月1日から「公益財団法人宮崎文化振興協会」として新たに出発しました。

公益財団法人として、「公益目的事業の適正な実施による公益の増進」を図るべく、施設の設定目的や、法令等に定められた公益認定基準に適合した法人経営を着実に推進し、特に公益目的事業につきましては、当協会が持つ経営資源を最大限に活用することにより、より一層の事業の充実と適切な事業展開を進めてまいります。

さらに、平成25年度は、管理施設の指定管理期間の最終年度であり、更なる公益目的事業の推進が求められています。

一方、財政面における環境は、当協会の収入が、宮崎市からの指定管理料及び補助金を主として、市の財政状況に依存していることから、当協会におきましては、様々な手法により経営の改善に努めてまいります。

具体的には、以下に掲げる3つの方針に基づき、それぞれの事業を推進することにより、市民の方々のニーズに応えられるよう、安全で快適な施設管理と魅力ある事業運営の推進を図ります。

3つの方針

1 公益目的事業の更なる推進

宮崎市の教育文化施設を管理運営するなかで、定款で規定された目的・事業を実施し、それぞれの館での公益目的事業を充実させます。

宮崎市の科学、歴史、環境、芸術文化に関して、指定管理者として柔軟かつ適切な自主事業を実施します。

2 地域活性化への貢献

宮崎市の有する自然や歴史、文化芸術など様々な地域資源を掘り起こし、またその資源を活用することで、宮崎市の学術、芸術文化等の推進に貢献します。事業推進の過程で、当協会が管理運営する各施設を拠点として、地域のコーディネーター的な役割を担っていきます。

3 協会経営の自主性、自立性の確保

公益財団法人への移行を契機に、財政面・人事面での自主性及び自立性を高めていきます。人事面では、職員の能力向上や専門スタッフの配置などを行い、組織全体の能力を向上させます。また、財政面では、運営コストの圧縮はもとより、各種補助金の確保や自主事業の実施、適切な受益者負担金の設定等により、継続的かつ安定的な財源の確保を図り、さらなる経営の健全化により一層努めます。

取組内容

1 職員体制の充実

協会職員が中心的役割を担う自立性の高い職員体制とするため、館長、副館長（事務総括）、学芸員等技術職員（専門業務等）、事務職員（受付事務等）を基本とした配置を進めます。

- （1）職員の専門性を高め組織の強化を図るため、無期雇用職員の採用の検討を行います。
- （2）これまで蓄積したノウハウを生かすことを前提とし、職員の適正配置や各部署の事務事業の適正化を図り、効率的な業務の遂行ができる体制を構築します。

2 専門性と経営感覚を持った職員の養成

職員一人一人が、危機意識や使命感、責任感を持ち、改革改善に取り組める実行力を持つと同時に、高い専門性や経営感覚を持った職員を育成するため、職員の研究の補助や各種研修・視察を実施し、組織全体としての能力を高めます。

- （1）職員研修計画を策定し計画に沿った研修を行うことで職員の能力の向上に努めます。
- （2）職員の意識高揚と能力の向上を図るため、先進地や類似施設の視察を行い、施設の運営に生かします。

3 小中学校、地域自治区（まちづくり推進委員会）との連携

各館において、学習指導要領に準拠した事業内容を組み立てるとともに、地域協議会と協働し、地域資源の掘り起しと活用を図ります。

- （1）小中学校へ誘致宣伝として直接訪問することで、事業内容やイベントの内容を説明するとともに、直接的な入館者増の効果のみならず、授業支援やニーズの把握も行います。
- （2）地域自治区（まちづくり推進委員会）との協働により、地域資源の掘り起こしと有効活用を行い、地域に密着した施設運営を図ります。

4 コストの縮減と自主財源の確保

事業の見直しや事務の改善を行うことでコストの縮減に努め、全体事業費を圧縮するとともに、コスト縮減分の一部を公益目的事業に投入し、更なるサービスの向上を図ります。

また、自主財源として、既存の自動販売機等の売り上げのみならず、広告収入や、各種補助金・助成金など様々な自主財源を検討し、財政面での自立を図ります。

- （1）職員一人一人がコスト意識を持ち、一定のサービスを維持しつつも、委託業務の見直しなどにより全体事業費の圧縮に努めます。
- （2）自主事業での、適正な受益者負担金の設定や補助金・助成金の確保、また、財団 HP やチラシ等への広告料を検討し、できるだけ多くの自主財源の確保を図ります。

5 利用者増への取り組み

当財団の管理運営施設は、6施設中5施設が教育関連施設であり、昨今の少子化や、展示物の入替えがない現状から入館者が伸び悩んでいる状況ですが、学習指導要領に準拠したプログラムの実施や、大人向けのソフト事業を実施することにより、幅広い入館者の増を図ります。

また、様々な媒体で誘致宣伝活動を行うことにより、施設の周知に努め、入館者の増につなげます。

- (1) 子どもはもちろん、幅広い世代の利用を促進するため、誘致活動やソフト事業を積極的に展開します。
- (2) 有料広告のみならず、様々な業種の媒体に掲載されるよう協力体制を整える等の方策を実施します。

平成25年度事業計画書の作成にあたって

初めに

平成25年度事業計画書及び当初予算書は、公益財団法人移行後初めての本格的な事業計画及び予算となることから、3つの協会基本方針、(1) 公益目的事業の更なる推進 (2) 地域活性化への貢献 (3) 協会経営の自主性、自立性の確保 の実現を大きな目標として作成した。

また、平成25年度は指定管理期間の最終年度となり、全館指定管理者公募が控えていることから、公募を見据えた様々な取り組みを実施することとしている。具体的内容は下記のとおりである。

1 新規事業及び周年事業の実施

- (1) 新規事業として、学習目的での館の利用を促進する事業、大人やカップルを対象にしたイブニングプラネタリウム、未就学児のための音楽会などを計画。
- (2) 開館20周年を迎える佐土原歴史資料館及び天ヶ城歴史民俗資料館については、記念事業を計画。
また、平成25年度中に科学技術館の入館者数が400万人を突破する見込みであることから、記念事業を計画。
- (3) 市制90周年イベントとして、宮崎市出身のアーティストが出演するプラネタリウム番組「コブクロ 流れ星に願いを」の上映を計画。

2 予算の集中化（下記に予算を重点投入）

- (1) 学習指導要領への対応や研究及び紀要の作成など、教育文化施設としての専門性や独自性を高める事業。
- (2) 利用者増を図るために実施する効果的な広報・宣伝活動事業。
- (3) NPO団体、協会以外が管理する市の施設、地域協議会などとの連携を図るための事業。

3 財源の確保について

- (1) 委託業務内容の見直しや消耗品費の見直しなど、事業の適正化と全体事業費の圧縮。
- (2) 受益者負担の原則に基づく、イベント参加料やイベント入場料等について見直し。
- (3) 施設管理運営事業積立金を活用した、一層の公益目的事業の充実。

平成25年度事務局経営戦略課事業計画書

1 複数館を利用した事業

当協会は教育文化施設6施設の管理運営を実施していることから、そのメリットを活かし、積極的に複数の施設を利用した事業を実施する。

事業名	内 容	実施時期等
【新規】 はじめてコンサート（乳幼児対象）開催事業	各館の平日の入館者増加対策と協会の社会貢献を目的に、各施設で、乳幼児とその父母を対象としたロビーコンサートを実施する。	月2回
【新規】 学習目的による施設利用推進事業	平成24年度に刊行した学校利用ガイドブックについて、さらに内容を充実させるとともに、学習目的で施設を利用しやすいよう展示物を利用したプログラムを作成し小中学校に周知する。	
どっぷり体験合宿	協会の管理する教育文化施設を一体的に活用し、「科学・歴史・自然」をテーマにした体験合宿をNPO団体と協働し実施する。	夏休み期間中 2回実施

2 利用者増への取組

各館で行っていた広報活動を経営戦略課で取りまとめることにより、効率化を図るとともに、協会全体の広報を強化する。

事業名	内 容	実施時期等
【新規】 宮崎文化振興協会機関誌作成事業	単なるイベントの開催日時の紹介だけでなく、イベントの目的や開催するに至った経緯等を利用者に詳しく紹介する協会機関誌を刊行する。	年4回
【新規】 宮崎文化振興協会 行事案内コーナー設置事業	入館者の増加を図るため、各施設内に、協会全体の行事案内とパンフレットが置ける掲示板付きパンフレットラックを設置する。	

3 地域への貢献

出前授業やアウトリーチを行い、地域のアーティストの出演機会を創出するなど、地域活性化に貢献する。

事業名	内 容	実施時期等
【新規】 出前授業・講座開催事業	各施設が、教育文化施設として地域活性化に貢献するため、出前授業や講座を地域で実施する。	通期
【新規】 チャリティーコンサート開催事業	協会職員の知識技能を生かしたサイエンスショーや展示、地元アーティストが出演するチャリティーコンサートを開催し、その収益を宮崎市へ寄附する。	10月

4 その他

事業名	内 容	実施時期等
宮崎文化振興協会モニター制度	協会モニターを公募し、各館の施設や行事について意見をいただくことで、利用者の意見を事業に反映させ、公益目的事業の推進を図る。	通期
研究事業	学術及び科学技術、文化及び芸術の振興を図り、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成と文化の香り豊かなまちづくりに寄与することを目的に、協会職員が実施する研究に対し、助成金を支給する。(上限10万円) また、成果については、協会内で研究発表会を実施するとともに、研究紀要としてまとめ、関係機関等に配付する。	通期
経営戦略研究旅費	学術及び科学技術、文化及び芸術の振興を図るとともに、指定管理施設を確保し安定的な経営基盤を構築するため、先進地の調査研究を行う。	通期

平成25年度宮崎科学技術館事業計画書

【基本方針】

宮崎科学技術館は、宮崎市制60周年記念事業として、明日を担う子どもたちに「科学する心」と「創造性」を培う場を提供するために開設された施設である。

昭和62年8月の当館開設以来、財団法人宮崎文化振興協会が、これまで一貫して充実した施設・設備を活用した管理運営に努めてきた。特に近年、障がい者や高齢者の利用も増え、利用者は、幼児から高齢者までの幅広いものとなっているので、これら利用者の多様なニーズを踏まえた確実で満足度の高い管理運営に努めている。平成24年4月から宮崎文化振興協会が公益財団法人となったことで、さらに公益事業の充実に努力し、今後とも市民から信頼されるように取り組んでいく。

そこで、次の3つの基本方針により、継続的・発展的な管理運営を行っていく。

〈基本方針1〉 明日を担う子どもたちに、「科学する心」と「創造性」を培う場を提供する。

〈基本方針2〉 地域に愛され、宮崎の人づくり・まちづくりに貢献する。

〈基本方針3〉 関係法令を遵守し、利用者に公平公正なサービスを提供する。

【事業概要】

1 常設展示事業

常に展示物の安全管理と安定的稼働を念頭に置き、利用者が体験を通して科学の原理原則を発見・体得できるよう展示配置や解説方法を工夫する。

2 教室事業

科学実験や工作、パソコン、天文等各種の教室を実施し、利用者の科学への興味・関心の高揚とともに、ニーズにも対応した事業展開に努める。

3 プラネタリウム事業

高性能の投射システムを生かし、幅広い年齢層に応じた番組や小・中学校の学習番組、自主制作番組の投射に加え、各種コンサートの実施など、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムの一層の活用に努める。

4 イベント事業

当館の開設の趣旨にふさわしい各種イベントの一層の充実を図り、科学に親しむ機会や環境問題、エネルギー問題などを身近に感じてもらう機会の創出・提供に努める。

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

小・中学校、高校、大学、企業やJSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)などの関係団体との更なる連携強化による一層の事業展開に努める。

6 その他

宮崎市の多様な教育施設の活用を含め、新規事業を付加し、館の情報提供や友の会への勧誘など、施設の有効活用や館の利用者拡大に努める。

1 常設展示事業

来館者が、約100点の常設展示物による遊びや体験を通して、科学の不思議に気づき、体得できるように努める。

2 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

幼児、小・中学生を中心に、多様な入館者を対象とした科学実験や工作などの教室を実施する。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	チャレンジサイエンス	入館者	30回	なし
2	不思議なサイエンスショー	入館者	10回	なし
3	なんでもサイエンス ※スペシャルサイエンスショー2回を含む	入館者	20回	なし
4	ダ・ヴィンチ工房	小4～中3	6回	各20人
5	水ロケット教室	小3～小6	1回	20人
6	自由研究サポート教室	小・中学生	3回	20人
7	生きがい科学館	一般	8回	各20人
8	どろだんご教室	小学生～一般	2回	各50人
9	科学技術週間親子工作教室	小3～小6	2回	各80人
10	わくわく実験教室	小・中学生	1回	20人
11	宮崎少年少女発明クラブ	小4～中3	20回	40人
12	コスモランド・ロボットクラブ(前期)	小5・6	10回	16人
	〃 (後期)	小4・5	10回	16人
13	コスモランド教室	園児	11回	各240人

(2) パソコン講座

小・中学生、一般を対象に、パソコンに対する興味・関心を高めてもらい、パソコンの基礎知識と基本操作技能を身につけてもらう。

No.	教室名	一般対象	友の会会員対象	定員
1	パソコン入門講座	7日×5回	—	各16人
2	ワード講座	7日×5回	—	各16人
3	続ワード講座	3日×4回	—	各16人
4	ワード応用講座	7日×2回	—	各16人
5	エクセル講座	7日×5回	—	各16人
6	続エクセル講座	3日×5回	—	各16人
7	エクセル応用講座	7日×2回	—	各16人
8	インターネット・電子メール講座	2日×2回	—	各16人

9	はがき作成講座	2日×5回	—	各16人
10	デジカメ講座	2日×4回	—	各14人
11	続パソコン入門講座【新規】	3日×4回	—	各16人
12	パワーポイント講座【新規】	4日×3回	—	各16人
13	友の会パソコン講座	24回	友の会対象	各16人
14	すいすいパソコン	35回	—	
15	モラル研修【新規】	2回	—	

(3) 天文教室

小・中学生から一般を対象に、プラネタリウムホールを活用した、星座の学習や星座にまつわる楽しい神話等を通して、天文に関する知識の普及と興味・関心を高めてもらう。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	星空教室	幼児から大人	10回	各50人
2	市民天体大観望会	幼児から大人	1回	約300人
3	スターウォッチング教室	団体	6回	各30~150人程度

3 プラネタリウム事業

星や星座、天体现象に関する解説を行い、各種番組を充実させることで、天文・宇宙科学に対する認識を深めてもらうとともに、宇宙への夢とロマンを提供する。外国からの観覧者には、一般番組の英訳解説を行う。

また、高性能投映システムの特徴を生かしたプラネタリウムでしか味わえないコンサートを実施することで、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムホールの有効活用を図る。

(1) 番組投影

① 学習番組 ※(永) = 永久投映権を有する番組

対象区分	番組名
幼児向け	「ピーターパンとほしのくにへいこう！」(永) 「オズの魔法つかい」(永)
小学生向け	「宇宙探偵ロッキンハイム」(永) 「スタジオ444」(永)
中学生向け	「忍法学習帳 星見の術でござる」(永)

② 一般番組

内容区分	番組名
ファミリー向け	「アイス・エイジ」【新規】 「名探偵コナン 星影の魔術師」【新規】 「GOODNIGHT GOLDILOCKS」【新規】 「ONE PIECE」【新規】 「むしむし星空大行進」(永) 「オズの魔法使い」(永) 「今夜、銀河の片隅で」(永) 「星になったチロ」(永)

科 学	「ユニバース～神秘と驚異の宇宙～」(永)「カッシーニ」(永)
ヒーリング	「コブクロ 流れ星に願いを」【新規】

③ 自主制作番組

「ひむか神話 ～太陽の女神・アマテラス～」

(2) コンサート

コ ン サ ー ト 名		対 象	期 日
キラキラ星空 コンサート	(こどもの日)	幼 児～一般	5月 5日(日)
	(七夕まつり)	幼 児～一般	7月 6日(土)
星空と音楽のタベ	(Part104)	中学生～一般	9月21日(土)
	(Part105)	中学生～一般	12月14日(土)
	(Part106)	中学生～一般	3月 8日(土)

(3) その他

癒しの プラネタリウム	仕事帰りの方々等を対象に、星空と音楽等でリラクゼーション効果を体験してもらい、プラネタリウムの活用拡大を図る。	6月 7日(金) 6月28日(金) 11月 8日(金) 11月29日(金) 1月31日(金) 2月21日(金) 【6回】
イブニング プラネタリウム 【新規】	大人やカップルを対象にプラネタリウムを楽しんでもらい、プラネタリウムの素晴らしさを知らせ、今後の利用を促す。	10月～3月 毎週金曜日
サウンド in プラネタリウム	宮崎市及び周辺2町すべての幼稚園や小中学校に呼びかけて、幼児や児童生徒が日頃経験できないプラネタリウムホールでの発表の機会を提供する。	11月30日(土) 12月 7日(土) 1月11日(土) 1月18日(土) 1月25日(土) 【5回】

4 イベント等

宮崎科学技術館と市民とのコミュニケーション及び利用者拡大を目的に、各種のイベントを行う。

(1) 主催事業

No.	イベント名	内 容	期 日
1	サイエンスカフェ	科学者と市民を結ぶ仲介役としての科学技術館の活動。科学の啓発をねらうとともに、市街地の店舗とコラボレートして実施することで、市街地の活性化も視野に入れている。	通年 【12回】
2	ゴールデンウィークイベント	鯉のぼりや大型人形を正面玄関付近に設置して、サイエンスショーや工作教室等を充実させる。子どもたちに科学に親しんでもらうために、こどもの日(5/5)は全館入館無料とする。	4月27日(土) ～5月6日(月) 【9日間】
3	第5回 地球を守ろう！ 環境展	環境問題を解決するための科学技術に関する展示会や実験教室等を実施することにより、環境問題への関心を高め、科学技術への理解を深める。	5月10日(金) ～26日(日) 【15日間】
4	感謝のつどい ・七夕まつり	市民への感謝の気持ちを込めて実施する。七夕まつりをテーマに、七夕にちなんだ工作教室などのイベントや、七夕に関するプラネタリウム番組を放映する。全館入館無料とする。	7月 7日(日) 【1日間】
5	南極パネル展 南極の氷譲渡式 &実験ショー	自衛隊の協力により南極の氷を譲渡してもらい、自然環境を考えるきっかけにするため、南極にまつわる展示や簡単な実験をする。 ※実験ショーは夏休み期間中の数日間	7月5日(金)～ 7月19日(金) 【13日間】
6	なるほど!なっとく! 人体の科学 ～心臓と肺のしくみ～	人間の体の仕組みや、心臓と肺の役割についての理解を深めるために、体験学習を行う。	7月21日(日) 【1日間】

7	第7回WRO(ワールド・ロボット・オリンピック) JAPAN宮崎大会	レゴブロックを用いて、課題に応じた自律型のロボットをつくり、競技会を行う。小・中・高等学校別に競技を行い、優勝者は全国大会に出場する。	7月 1日(水) 【1日間】
8	教員のための博物館の日 【新規】	教職員に向けて、科学館等が学習に役立つことを理解してもらうとともに、よりよい利用方法について周知し、学習目的の利用を促進する活動をする。	8月2日(金) ～3日(土) 【2日間】
9	青少年のための科学の祭典2013宮崎大会	科学や科学技術の不思議さや楽しさを身近に体験できる実験ブースを多数用意し、面白さと不思議さを通して科学や科学技術に対する興味・関心を深める。 ※プラネタリウムを除いて入館無料	8月 9日(金) ～11日(日) 【3日間】
10	第20回宇宙画作品展	県内の小中学校から宇宙に関するテーマにそった絵画を募集し、その入選作品を展示する。9/8には表彰式を行う。	8月24日(土) ～9月8日(日) 【14日間】
11	宇宙教室	9月の「宇宙月間」にちなみ、専門家の講演会を開くことで、宇宙についての正しい知識を深めるとともに、子ども達の宇宙に対する夢を育てる。	9月 7日(土) 【1日間】
12	科学技術館シルバーdays	高齢者を敬い、また高齢者と家族が楽しく過ごす場を提供するために、65歳以上の方及びその同伴家族の方全員を入場料無料にする。	9月14日(土) ～16日(月) 【3日間】
13	第4回JSCフェスティバル	科学技術館シルバーdaysにあわせて、JSCの活動の様子を、実験ショーや写真・作品展示で紹介する。	9月14日(土) ～16日(月) 【3日間】
14	入場400万人達成記念イベント 【新規】	入場400万人達成への感謝とこれからの科学技術館の在り方を市民に提案する。	10月18日(金) ～20日(日) 【3日間】
15	JSC視察研修	JSC会員対象に視察研修を実施する。	10月23日(水) 【1日間】

16	スターフェスティバル	市民への天文活動の普及啓発を目的として、星の写真パネルやビデオ紹介などを行う。	11月15日(金) ～24日(日) 【9日間】
17	企画展 ロンドン からくり 博物館 【新規】	市民へ最先端のロボットや開発の歴史を紹介し、科学技術について関心をもってもらおう。	2月8日(土) ～23日(日) 【13日間】
18	友の会研修	宮崎科学技術館「友の会」会員とその家族を対象に視察研修を実施する。	2月9日(日) 【1日間】

(2) 共催事業

No.	イベント名	内 容	期 日
1	航空教室 (航空大学校主催)	小・中学生を対象に、空を飛ぶことについての正しい知識を持ってもらうことを通して、航空思想の普及啓発を図るために実施する。	7月20日(土) 1月25日(土) 【2日間】
2	宮崎ミニ水族館 (宮崎大学農学部海洋 生物環境学科主催)	宮崎の海に生息している生物の水槽や標本、パネル等を展示して、海洋環境や生物への興味・関心を高める。	9月26日(木) ～29日(日) 【4日間】
3	宮崎県発明くふう展 (発明協会宮崎県支部 主催)	創造力に富む人材の育成と発明の奨励を図るとともに、その実用化を促進し、科学技術に対する意識の高揚と本県工業の発展に寄与するために実施する。	10月18日(金) ～20日(日) 【3日間】
4	宮崎市中学校毛筆展 (宮崎市中学校国語部 会主催)	宮崎市の中学生による毛筆の作品を展示し、中学生や関係者の科学館利用を図る。	10月25日(金) ～11月7日(木) 【12日間】
5	県特別支援学校アート展 (宮崎県特別支 援学校校長会主催)	県内の特別支援学校の児童生徒による作品を展示して、子どもたちの作品展示の場を提供する。	11月27日(水) ～12月1日(日) 【5日間】
6	宮崎地区サイエンス コンクール展 (科学夢チャレンジ宮 崎地区実行委員会主 催)	宮崎地区(1市2町)の小・中学生、高校生の理科の自由研究に関する作品展を行うことを通して、科学技術への興味・関心を高める。	12月7日(土) ～27日(金) 【18日間】

7	宮崎市中学校硬筆展 (宮崎市中学校国語部 会主催)	宮崎市の中学生による毛筆の作品を 展示し、中学生や関係者の科学館利用 を図る。	1月10日(金) ～21日(火) 【10日間】
---	---------------------------------	---	-------------------------------

5 人的ネットワークの積極的・効果的活用

- (1) 小・中・高等学校・大学・企業との連携を通して、展示事業や各種イベント等の充実を図り、子どもたちの「科学する心」や「創造性」を育むよう努める。
- (2) 「JSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)」との連携を通して、教室事業等の一層の充実を図るとともに、アウトリーチ活動も積極的に展開する。
- (3) 天文愛好者との連携による天文教室や天体観望会、各種コンサートの開催等を通じて市民の天文科学への興味・関心を深め、同時に、世界最大級のプラネタリウムの積極的な活用を図る。
- (4) 宮崎科学技術館運営ボランティア、宮崎大学(各工作教室開催日における教育研修生の派遣等)との連携により、来館者への案内業務サービスの向上に努める。

6 その他

- (1) ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し来館者増に努力する。
- (2) 夏の3館合同による「科学・歴史・自然 どっぷり体験合宿」について、宮崎市歴史資料館及び大淀川学習館との事業連携により横断的に業務推進する。
- (3) 当館の運営をサポートしているJSC、発明クラブ等への助成を行う。
- (4) 来館者へのサービス向上を図るため、オリジナル商品の販売等、売店の円滑な運営・充実に努める。

平成25年度宮崎市歴史資料館事業計画書

基本方針

協会が管理する宮崎市歴史資料館は、みやざき歴史文化館、宮崎市佐土原歴史資料館及び宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の3館である。

みやざき歴史文化館は、歴史、民俗、神話等に関する資料の収集、保管、展示のほか、子どもたちや市民に郷土の歴史、伝統文化、神話等に接する機会と場所を提供するため、平成4年に市制60周年記念事業の一つとして蓮ヶ池史跡公園に建設された。また、宮崎市佐土原歴史資料館は鶴松館（平成5年開館）・佐土原出土文化財管理センター（平成7年開館）・商家資料館「旧阪本家」（平成13年開館）から成り、佐土原地区の歴史や文化等を紹介するとともに、資料の保管・研究のために建設された。

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は、平成5年に高岡地域の桜の名所、天ヶ城公園内にオープンし、高岡地域の文化遺産（歴史・考古・民俗）を保管・展示している。

そこで、「宮崎市歴史資料館3館」として、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために事業を展開し、管理運営の基本方針を次の3つとする。

- 〈基本方針1〉 子どもたちや市民が、宮崎の歴史、文化、民俗等にふれ、郷土理解を深められるように「地域の博物館」としての取り組みを推進する。
- 〈基本方針2〉 地域の歴史文化の拠点として独自の文化や活動の情報を発信する。
- 〈基本方針3〉 関係法令を遵守し、利用者に公平公正なサービスを提供するとともに、館の効率的な管理運営に努める。

事業概要

(1) 常設展示事業

各館の歴史的背景、地域の特色等を踏まえ、従前の展示物を入れ替えたり、解説方法を工夫したりして、利用者が宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、日向神話等を楽しく学習する場を提供する。

(2) 企画展示事業

地域特性も考慮しながら、その年度に応じた収蔵資料を公開する。また様々な年齢層に興味を持っていただく内容での特別展を企画する。

(3) 講座事業

専門家による古文書講座や歴史文化講座、地域の人材による田畑での農耕体験学習、学習指導員等による体験学習など幅広く学べるようにする。

(4) イベント事業

みやざき歴史文化館の鎧・兜の試着等による「こどもの日イベント」、夏の特別展関連イベント等をはじめとして利用者ニーズを踏まえた内容とする。

(5) その他

資料の寄贈・寄託や、調査研究により収蔵資料の充実を図るとともに、地域の歴史文化の情報拠点として、宮崎市歴史資料館のHPやフェイスブックの活用等により情報を発信していく。また、研究紀要の充実を図る。

みやざき歴史文化館

1. 展示企画

(1) 常設展示

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、神話の世界に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深め、郷土愛を養う。

(2) 企画展示

宮崎の歴史・文化に関連する資料を収集、借用し、1階展示ホールや2階展示ホール、ギャラリーを利用して展示する。

No	企画展示名	内 容	時 期
1	企画展① 歴史文化館のあゆみ展	平成24年度に実施した各種体験学習等の様子をパネルで紹介する。	4～5月
2	企画展② 平成25年度みやざき歴史文化館収蔵品展	平成24年度に新たに当館に収蔵されたものを中心に展示する。	5～6月
3	【新規】企画展③ 夏の特別展「幽霊・妖怪大集合」	日本の様々な、幽霊・妖怪について展示解説する。	7～9月
4	【新規】企画展④ 秋の特別展「宮崎の祭り・伝承展」	宮崎に残る祭りや伝承などを写真パネルやキャプションで紹介する。	10～12月
5	企画展⑤ 年中行事「宮崎の正月展」	宮崎県内に伝わる正月の風景、代表的な飾り、伝統行事等を実物、模型、写真パネル等で紹介する。	12～1月
6	【新規】企画展⑥ 時の流れ・宮崎の今昔	宮崎の昔の写真と現在の風景を比較展示する。	1～3月
7	【新規】企画展⑦ 歴史文化館のひな祭り	これまでに寄贈されたひな人形を中心に展示を行う。	2～3月

2. 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回 数	定 員
1	歴史文化講座	主に宮崎の歴史事象や歴史上の人物を取り扱った内容、民俗・民俗芸能に関する内容の講座を開設する。	6回	各30名
2	古文書講座	中級程度の内容で前期10回、後期10回開催する。	20回	各30名
3	歴史探訪	宮崎市及び宮崎市近郊にある史跡や文化財の見学をする。 9月、10月、11月、1月、3月	5回	各20～ 25名

3. 体験学習

昔から行われてきた農耕体験学習、昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習を実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	時 期
1	ネチャゲーム	史跡公園内で自然を体感しながら様々な遊びをする。	3回	子どもと保護者 一般 30名	4月 10月 3月
2	竹を使ったおもちゃ作り	竹馬などを作る。	1回	子どもと保護者 30名	5月
3	農耕体験学習	さつまいもの栽培や餅つきを体験する。	5回	子どもと保護者 50名	5月～ 12月
4	釣竿を作って魚を釣ろう	竹の枝を落とし、油を抜いて釣竿を作り、その竿で魚を釣る。	2回	子どもと保護者 60名	6月 7月
5	【新規】けん玉作り	竹でけん玉を作って遊ぶ。	2回	子どもと保護者 30名	7月 9月
6	【新規】オリジナル埴輪作り	実物を見ながら粘土で埴輪を作る。	1回	子どもと保護者 30名	7月
7	まが玉作り	滑石の教材でまが玉作りをする	2回	子どもと保護者 30名	7月 11月
8	夏休みの楽しい工作	身近な材料をつかって工作をする。	1回	子どもと保護者 60名	8月
9	水鉄砲作り	竹で水鉄砲を作り紙の的を落として遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30名	8月
10	どんぐりを使ったおもちゃ作り	館周辺のどんぐりを使って、やじろべえなどのおもちゃを作る。	1回	子どもと保護者 30名	11月
11	伝統凧づくり	伝統凧を作り広場で揚げる。	1回	子どもと保護者 30名	11月
12	ミニ門松づくり	正月用のミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者 40名	12月
13	しめ縄づくり	正月用のしめ縄を作る。	1回	子どもと保護者 30名	12月
14	土器づくり	縄文土器を作る。	1回	子どもと保護者 30名	1月
15	【新規】羽釜でご飯炊き	かまどと羽釜でご飯を炊く。	1回	子どもと保護者 30名	2月
16	おひなさまを作ろう	身近な材料を使って雛人形を作る。	1回	子どもと保護者 30名	2月
17	染め木を使って飾りを作ろう	染め木を使って壁飾り、ユースターなどの小物を作る。	1回	一般 30名	2月
18	粉ひき体験	石臼を使って、粉ひき体験をする。	1回	子どもと保護者 30名	2月

4. イベント事業

イベント名	内 容	期間等
こどもの日イベント	5月3日～6日の4日間に、鎧・兜の試着、野点、ウオークラリー、竹細工、紙兜作り、メンコ作り、まが玉作り等を行なう。	5月3日 ～5月6日
おもちゃ病院	壊れたおもちゃを無料で修理する。	4月 7月 1月
夏休みイベント	夏休み期間中に「魚のつかみ取り」、「史跡公園・生き物採集教室」などを実施する。	8月
【新規】 秋休みイベント	「魚のつかみ取り」2回目を実施する。	10月

5. その他

(1) 資料収集・調査研究

歴史資料や文化財の写真収集・調査研究を行ない、資料の充実を図る。

(2) 資料の保存・保管

日常的に害虫対策をおこない、薬害等のリスクの高い薬剤燻蒸の規模の縮小を図る。

併せて24時間の温湿度管理を行ない、記録データを常に監視しながら歴史資料の保存・展示に適した環境作りに努める。

(3) 出前講座

学芸員による地域や各学校に出向いての歴史講座や学習指導員による竹細工作りなどの出前講座を年間を通じて実施する。

(4) 他館との連携

夏の3館合同による「科学・歴史・自然 どっぷり体験合宿」について、宮崎科学技術館及び大淀川学習館との事業連携、また、歴史3館内での連携により横断的に業務推進する。

(5) 年報・研究紀要の発行

みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の平成25年度の事業概要と調査研究成果をまとめた、「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

1. 展示企画

(1) 常設展示

佐土原地域の考古・歴史(特に佐土原藩)・民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深め、郷土愛を養う。

(2) 企画展示

佐土原地域の歴史・文化・民俗に関連する資料を収集、借用し、鶴松館、出土文化財管理センター、商家資料館を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	時 期
1	節句人形展	商家資料館に、佐土原人形でできた端午の節句人形を展示する。	4月～5月
2	【新規】 収蔵品展・アカウミガメの写真展	当館に寄贈された物を中心に出土文化財管理センターに展示するとともにアカウミガメの写真展を行う。	6月～9月
3	【新規】 廣瀬転城物語	建設中止となったまぼろしの廣瀬城を古地図などでひもとく。出土文化財管理センターで展示する。	10月～2月
4	ひな人形展	商家資料館に、佐土原人形でできたひな人形を展示する。	2月～3月

2. 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回数	定 員
1	歴史文化講座	主に宮崎、佐土原の歴史事象や歴史上の人物、民俗・民俗芸能に関する内容の講座を開設し、郷土を学ぶ機会とする。	5回	各20名
2	古文書講座	初級から中級程度の内容で8回開講する。	8回	各15名
3	史跡探訪会 文化探訪バスツアー	佐土原を中心に宮崎市及び宮崎市近郊の史跡文化財の見学を実施し、文化財等に対する啓発と愛護意識の高揚を図る。 史跡探訪会(第1回) 9月 史跡探訪会(第2回) 10月 史跡探訪会(第3回) 11月 文化財探訪ツアー 11月	4回	各25名

3. 歴史民俗講演会

No.	講演会	内 容	回数	定 員
-----	-----	-----	----	-----

1	歴史・民俗講演会	企画展関連講座（11月）	1回	各50名
---	----------	--------------	----	------

4. 体験学習

昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習を親子や一般参加者を対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	時 期
1	山城探検	山城散策とともに、ネイチャーゲーム、探鳥会などを実施する。	1回	子どもと保護者、 一般 20名	5月
2	花菖蒲を描こう	花菖蒲祭り会場で花菖蒲をスケッチする。	1回	子どもと保護者、 一般 20名	6月
3	佐土原人形の 絵付け①	佐土原人形に絵付けをする。	1回	子どもと保護者、 一般 20名	7月
4	うずら車の絵付け	郷土の玩具のうずら車に絵付けをする。	1回	子どもと保護者 一般 20名	8月
5	ミニ門松作り	正月飾り用のミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者、 一般 20名	12月
6	神代独楽回し大会	伝統工芸品の神代独楽を回して競技会を行う。	1回	子どもと保護者、 一般 20名	1月
7	佐土原人形の 絵付け②	佐土原人形に絵付けをする。	1回	子どもと保護者、 一般 20名	2月

5. イベント事業

イベント名	内 容	期間等
佐土原花しょうぶ祭り	鶴松館裏手の花しょうぶ園の開花にあわせ、花しょうぶ観賞のためのイベントを開催する。地元実行委員会との共催で実施する。	6月1日（土） ～ 6月2日（日）
【新規】開館20周年記念イベント	鶴松館開館20周年を記念し、鶴松館の運営に功績のある団体・個人の表彰を行うとともに「島津家久と豊久」の著者である山元泰生氏の記念講演及び琴の演奏、刀剣類の展示等を行う。	6月9日（日）

6. その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行ない資料の充実を図る。

(2) 他館との連携

夏の3館合同による「科学・歴史・自然 どっぷり体験合宿」、また、歴史3館内での連携により横断的に業務推進し、情報の発信を行う。

(3) 年報・研究紀要の発行

みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の平成25年度の事業概要と調査研究成果をまとめた、「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館

1. 展示企画

(1) 常設展示

高岡地区の考古・歴史、民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深め、郷土愛を養う。

(2) 企画展示

高岡地区の歴史・文化に関連する資料を収集、展示する。

No.	企画展示名	内 容	時 期
1	【新規】企画展① 天ヶ城蔵出展	高木兼寛関係資料などの、当館収蔵資料を展示する。	5月～7月
2	【新規】企画展② 高岡言葉つづり	高岡の民話・方言・民謡にまつわる資料を展示・紹介する。	7月～9月
3	【新規】企画展③ (開館20周年記念) 紙は語る-高岡の紙資料たち-	歴史や民俗にまつわる、当館所蔵・個人所有の古文書などを展示する。	10月～12月
4	企画展④ 古い道具と昔の暮らし	小学校の社会科学学習に資することを目的とし、昔の道具(民具)を一堂に展示する。(授業支援事業と連動)	12月～2月

2. 講座事業

No.	講座名	内 容	回 数	定 員
1	古文書講座	古文書の解説を行う。	8回	各10名
2	天ヶ城歴史文化講座①	穆佐城址の散策を行う。	1回	30名
3	天ヶ城歴史文化講座②	高岡町近郊の史跡めぐりをする。	1回	15名

3. 体験学習

昔から行われてきた人々の暮らしと関連した製作体験を親子や一般参加者を対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	時 期
1	糸電話と紙とんぼを作ろう	糸電話や紙とんぼを作る	1回	子どもと保護者 20名	6月
2	水鉄砲を作って水と遊ぼう	竹で水鉄砲を作って遊ぶ	1回	子どもと保護者 20名	7月
3	ペットボトルでくかざぐるまを作ろう	身近にある材料を使って「くかざぐるま」を作る。	1回	子どもと保護者 20名	8月
4	ゴム動力自動車を作って走らせよう	ゴム動力自動車を作る	1回	子どもと保護者 20名	8月
5	布草履を作って床をぴかぴかにしよう	布で草履を作る。	1回	大人10名	9月
6	紙飛行機をつくって大空に飛ばそう	紙飛行機を作って飛ばす。	1回	子どもと保護者 20名	10月

7	お芋ほり体験をしよう	芋掘り体験をする。	1回	子どもと保護者 20名	10月
8	ミニ門松を作って正月を迎えよう	正月に合わせて玄関に飾るミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者 40名	12月
9	二見家でかまど体験をしよう	昔の人々が日常生活で使用していた炊飯道具でご飯を炊く。	1回	子どもと保護者 20名	2月

4. イベント事業

イベント名	内 容	期間等
【新規】創作演劇上演	当館の武者ボランティアによる、歴史を題材とした創作演劇の上演会を行う。	5月
【新規】開館20周年記念イベント	企画展③開催期間中、企画展に関連した講演会、創作演劇上演、野点などのイベントを行う。	11月

5. 授業支援事業

No.	授業支援名	内 容	時 期
1	むかしの道具たち	要請のあった小学校へ、当館所蔵の昔の道具(民具)を持参し、授業支援を行う。	12月～2月 (企画展④ 開催期間)

6. その他

- (1) 資料収集・調査研究
古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行ない、資料の充実を図る。
- (2) 出前講座
学習指導員による上記体験学習の出前講座を年間を通じて実施する。
- (3) 他館との連携
夏の3館合同による「科学・歴史・自然 どっぷり体験合宿」、また、歴史3館内での連携により横断的に業務推進し、情報の発信を行う。
- (4) 季刊広報紙の配布
当館の事業紹介・講座参加者募集など行うため、高岡地区自治会あての回覧紙として、年4回「天ヶ城だより」を配布する。
- (5) 年報・研究紀要の発行
みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の平成25年度の事業概要と調査研究成果をまとめた、「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

平成25年度大淀川学習館事業計画書

【基本方針】

当館は、宮崎市制70周年記念事業により、大淀川浄化活動及び大淀川学習のシンボリックな施設として、次世代を担う子どもたちを中心に、身近にある自然を実際に見て・触れて・体験し、大淀川や環境問題について主体的に学ぶことを通して、大淀川の自然や水資源を大切にする心や郷土を愛する心を培うことを目指して設置された。

当館は、開館以来、設置趣旨を踏まえ、施設・設備の効果を最大限に発揮できるよう管理運営に努めてきた。特に近年では、障がい者や高齢者の利用が増え、利用者は幼児から高齢者まで幅広い年齢層になっており、これら利用者の多様なニーズを踏まえた管理運営に努めている。

当館の基本方針は次の3つである。

- 〈基本方針1〉 明日を担う子どもたちに、大淀川の自然体験などを通して、河川環境に対する意識の啓発を図るとともに、郷土を愛する心を培う。
- 〈基本方針2〉 地域に愛され、宮崎の人づくり・まちづくりに貢献する。
- 〈基本方針3〉 関係法令を遵守し、利用者に公平・公正なサービスを提供する。

これらの基本方針のもと、利用者の視線をこれまで以上に大切に生かしながら、広く地域住民に愛され、活用される施設としての運営を目指していく。

【事業概要】

当館においては、事業を大きく6事業に区分して行っている。

1 展示事業

常設展示の維持・管理に努めるとともに、利用者が最良の状態を活用できるよう、季節や学校での学習内容に応じた展示運営を行う。また、当館の設置目的を達成するために、環境保護に関する明確なメッセージが発信できるような企画展示や作品展示等の工夫・改善に努め、学習機能の充実に努める。

2 学校対応事業

学校や幼稚園の教育課程に沿った授業支援や、学校教育及び社会教育に係る指導者に対する指導者支援を行い、教育効果の向上や、指導者の技術の向上に資する。

3 団体対応事業

学校や幼稚園以外の団体等が、河川環境学習を目的とした活動を行う際に、当館が支援を行い、河川浄化の啓発を行う。

4 教室事業

各種の実験・工作や、観察・採集、大淀川での体験等を通して、大淀川流域の環境やそこに棲息する動植物について参加者の興味や関心を高め、ニーズにあった事業の実施に努める。

5 イベント事業

各種イベントの内容や実施時期など、参加者の現状に即して工夫・改善を図るとともに、大淀川流域の自然に親しみ、水環境や動植物に間近に接する場を提供し、当館の利用促進に努める。

6 その他

マスコミ等への情報提供、ホームページの充実、ウェブログ（ブログ）の更新などの情報の提供に努める。

1 展示事業

(1) 常設展示

大淀川をはじめとする河川及びその周辺の自然、文化、歴史などについて、見て、触れて、体験し、楽しみながら、河川環境に対する興味や関心を高める。

① テーマ展示

来館者が常に新鮮な気持ちで展示物を見学できるように、展示機器のメンテナンスと展示内容の工夫・改善に努め、定期的に展示物の入替を行う。

② 生体展示

大淀川水系に見られる魚、水生小動物、昆虫等の生体展示を通して、生物の生態や生息環境について興味・関心を高めるとともに理解を深める。また、動植物の飼育・栽培技術の確立と計画的な展示に努め、生体の種類の確保と補充を図る。

ア 自然楽習園

小川が流れ、外気と気温を同じにした施設内で、チョウを中心とした季節に応じた身近な動植物の生体展示を通して、自然理解の学習の場とする。受託者との連携を図りながら、チョウの個体数と種類を増やす努力を行う。

イ 生体展示ホール

大淀川水系で見られるアカメ、ヤマメなどの魚、水生小動物の生体展示を通して、生物の生態や生息環境について理解を深められるよう説明掲示を工夫する。また、関係団体との連携のもと、稚魚から成体まで間近で観察できるウナギの生態コーナーを夏季に設置する。

ウ ホタル展示室

環境保全課・ホタル保存会の支援のもと、ホタルの生態や生息環境について理解を深められるように、展示方法や飼育方法の改良を進める。

③ コーナー展示

各コーナーの展示物の計画的運用を図り、ミニギャラリーコーナーをはじめとする施設内の壁面やスペース等を活用して、展示物の充実を図る。また、教室などで作成した個人の作品や個人の研究物等の展示も工夫し、住民の情報発信の場を提供する。

④ 里山の楽校

樹木の育成やビオトープの適正な維持管理など、昆虫等の小動物や植物と触れ合う環境づくりを推進するとともに、本館や大淀川水辺の楽校との連携を図っていく。

⑤ 大淀川水辺の楽校

宮崎市公園緑地課の管理する「大淀川水辺の楽校」を有効活用し、本館や里山の楽校と併せて屋内外の総合体験学習ゾーンとして事業展開を行う。

(2) 期間展示

年間を通じて、当館の設置趣旨に沿った企画展示や作品展示を開催することを通して、大淀川の動植物、文化、環境についての興味・関心を高める。

① 企画展示

ア 特別企画展（春の企画展）「水の生き物と仲良くなろう！～ザリガニ展～」

[4月中旬～6月中旬]

子どもたちに人気の「アメリカザリガニ」を多数用意し、タッチプールで触れたり、ザリガニ釣り体験をしたりするとともに、在来種である「ニホンザリガニ」も合わせて展示し、その生態や在来種と外来種との関係についての展示パネルを設置することを通して、生命を大切にしようとする意識の高揚や大淀川流域の自然を大切にしようとする意識を育てる。

イ 特別企画展（夏の企画展）「森の生き物と仲良くなろう！～カブトムシ・クワガタムシ展～」 [7月上旬～8月下旬]

大淀川流域や世界で見られるカブトムシやクワガタムシを自然に近い状態で観察し、触れることを通して、昆虫への興味・関心を高めるとともに、在来種と外来種との関係についての展示パネルを設置することを通して、生命を大切にしようとする意識の高揚や大淀川流域の自然を大切にしようとする意識を育てる。

ウ【新規】秋の企画展「水の生き物と仲良くなろう！～ドクターフィッシュ体験～」

[9月上旬～10月上旬]

人の角質を食べてくれる魚「ドクターフィッシュ」を多数用意し、タッチプールで触れる体験を通して、水の生き物と親しみ、自然を大切にしようとする意識を育てる。

エ【新規】秋の企画展「ミクロの世界探検展」 [10月中旬～11月下旬]

肉眼では見ることのできない昆虫や魚などの顕微鏡写真を展示し、生命のつくりの巧妙さに触れることを通して、生命尊重や自然保護への関心を高める。

オ【新規】冬の企画展「大淀川流域の歴史・文化 パネル展」 [12月上旬～1月中旬]

大淀川やその流域の歴史や伝統文化などに関するパネルを制作し、展示することを通して、その歴史や伝統文化を大切にしようとする心を育てる。

カ 冬の企画展「カラー魚拓への誘い」 [12月上旬～1月中旬]

拓本の技法を取り入れ、まるで生きているような見応えあるカラー魚拓愛好家の作品展示を通して、魚の形や色、模様などの特徴を捉え、魚類への興味・関心を高めるとともに、生命尊重や自然保護への関心を高める。

キ【新規】新年の企画展「幸せかもんカメカメ展」 [1月上旬～2月上旬]

新年を迎えるに当たり、縁起の良い生き物とされるカメを展示するとともに、カメのぬいぐるみに運玉を投げて新年の運勢を占うコーナーなどを設け、親子で楽しみながら生物に親しみ、ハ虫類への興味・関心を高める。

ク【新規】春の企画展「宮崎県産材の積み木で遊ぼう！」 [2月上旬～3月下旬]

（公社）宮崎県森林林業協会との連携のもと、宮崎県産材（スギ）を使った積み木を大量に準備し、親子で自由に作品作りを楽しむことを通して、大淀川流域で育った樹木への興味・関心を高めるとともに、自然を大切にしようとする心を養う。

ケ 春の企画展「春一番、ひな山」 [2月下旬～3月上旬]

大淀川流域の綾町で生まれた「ひな山」をエントランスホールに展示することを通し

て、大淀川流域の民俗文化への関心を高める。

② 作品募集と展示

ア 第13回大淀川流域の写真展 [9月上旬～10月上旬]

大淀川流域の動植物・風景等の写真を募集・展示することにより、流域の動植物や自然への関心を高め、自然を大切にしようとする心を育てる。

イ 第19回大淀川流域の動植物画コンクール [10月中旬～11月下旬]

大淀川流域に生息する鳥・魚・昆虫等の動物や植物の精密画を募集・展示することにより、大淀川流域の動植物に対する関心を高め、動植物を正確に観察する力を育てる。

ウ 第9回小・中学校川の学習展 [2月中旬～3月中旬]

小・中学校で行われている総合的な学習の時間でまとめた、河川に関する実態などの学習成果を展示し、広く流域住民に知らせることを通して、大淀川流域の環境に対する関心を高め、大淀川の自然や水資源を大切にしようとする心を育てる。

(3) 川のシアター

① 定常上映

オリジナルの3Dハイビジョン映像の上映を通して、大淀川の自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、河川浄化に関する意欲を高める。なお、昨年度積立金充当により新規番組を制作し、今年度より合わせて上映を開始する。

② 特別上映

ア 団体上映

団体の要望に応じたオリジナルの3Dハイビジョン映像の上映を通して、大淀川の自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、河川浄化に関する意欲を高める。

イ 特別上映

前期と後期の2期に分け、家族・子ども向けの既成の3Dハイビジョン映像を上映することを通して、自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、当館の利用促進に努める。

(4) 展示解説

① ミニ講座

河川、自然、環境に関する内容について、館職員が説明・講話を行うことを通して、自然や環境に関する興味・関心を高める。また、館職員の特技を生かしたりボランティアを活用したりして、講座の充実に努める。

② 魚の餌やり

大型水槽等の魚に餌をやる様子を見学させることで、魚の生態を知るとともに、大淀川に生息する魚への興味・関心を高める。

2 学校対応事業

(1) 授業支援

小・中学校、高校、大学、特別支援学校、幼稚園等の学習の一環として、授業協力の要請に対して随時対応し、教育効果の向上を図る。

(2) 指導者支援

学校教育及び社会教育において、小・中学生の指導に当たる者を対象とし、その指導技術の向上を図る。宮崎市教育情報研修センターとの連携を推進する。

No.	講座名	内容	定員	実施時期
1	先生のためのチョウ講座 (実験・工作室)	チョウの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	40名	4月下旬
2	先生のためのメダカ講座 (実験・工作室)	メダカの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	30名	6月上旬
3	先生のための地層講座 (実験・工作室)	宮崎の地層のつくりなど、指導に使える情報や素材を提供する。(宮崎市教育情報研修センターとの連携)	30名	7月中旬

(3) 子ども会・PTA支援

小・中学校の児童生徒、保護者を対象とし、講義や観察、工作を通して、動植物や環境に対する関心を高める。

3 団体対応事業

社会教育関係団体や行政機関等、学校以外の団体から河川環境学習を目的とした活動の要請がある場合、当館が活動支援を行い、河川浄化等について啓発を行う。

4 教室事業

(1) 環境教室

実験や実物の観察、工作等を通して、大淀川の自然環境や水資源について理解を深める。
(小学生以上を対象)

No.	教室名（開催場所）	内容	定員	実施時期
1	川の生き物で水質調べ (深年川 法華嶽)	水生生物を使った水質調査をすることを通して、水質調査の方法を理解する。	20組	4月下旬
2	伝統のホタルかご作り (実験・工作室)	麦わらを使った昔ながらのホタルかごを編むことを通して、ホタルの生育環境を理解する。	20組	5月中旬
3	ホタル環境教室 (実験・工作室)	実際にホタルの成虫を観察することを通して、ホタルの生態を理解する。	20組	5月下旬
4	浄水場見学で自由研究 (富吉浄水場)	浄水場を見学することを通して、浄水場の役割や水の大切さを理解する。(宮崎市上下水道局との連携)	20組	8月上旬
5	大淀川の水を調べよう (実験・工作室)	パックテストを使って水質検査をすることを通して、大淀川の水質について理解する。	10組	8月中旬
6	牛乳パックで年賀はがき作り (実験・工作室)	牛乳パックからはがきを作ることを通して、リサイクルや森林の保護の重要性を理解する。	20組	11月中旬
7	野鳥の巣箱作り (実験・工作室)	野鳥の巣箱を作ることを通して、野鳥の生態や森林保護の必要性を理解する。	20組	11月下旬
8	ペットボトルで工作 (実験・工作室)	ペットボトルを使ったものづくりを行うことを通して、再利用の必要性を理解する。	20組	3月上旬

(2) 観察教室

大淀川流域の動植物の観察、採集、飼育、栽培を通して、大淀川やその環境について興味・関心を高める。(小学生以上を対象)

No.	教室名（開催場所）	内容	定員	実施時期
1	食べられる野草さがし (実験・工作室、水辺の楽校)	水辺の楽校にある食用、薬効のある植物を採集することを通して、身近な野草への興味を高める。	20組	4月上旬

2	ミツバチ教室 (里山の楽校)	巣箱内のミツバチの様子を観察し、ハチミツ採取を行うことを通して、身近な昆虫への興味を高める。	20組	4月下旬
3	メダカの飼育観察 (実験・工作室)	メダカの飼育の仕方を学習し、卵の観察をすることを通して、身近な魚への興味を高める。	20組	6月上旬
4	【新規】水辺の楽校で昆虫の観察・採集をしよう	水辺の楽校を活用し、トンボやバッタ、チョウなどを観察・採集する。	20組	6月上旬
5	カブトムシ・クワガタムシの飼育教室 (実験・工作室)	カブトムシ・クワガタムシの飼育の仕方を学習し、その生態を観察することを通して、身近な昆虫への興味を高める。	20組	7月中旬
6	植物採集で自由研究 (実験・工作室、里山の楽校、水辺の楽校)	植物標本の作り方を学習し、実際に標本作製することを通して、身近な植物への興味を高める。	20組	8月上旬
7	バスで巡る大淀川源流と宮崎の名所・地層 (鹿児島県曾於市、宮崎市及びその周辺)	バスで移動しながら大淀川源流や宮崎の名所・地層を観察することを通して、宮崎の歴史や大地、大淀川の成り立ちについて興味を高める。	25名	10月中旬
8	まつぼっくりでクリスマスツリー作り (実験・工作室)	まつぼっくりを使って、小さなクリスマスツリーを作る。	20組	12月上旬
9	冬鳥ウォッチング (里山の楽校、水辺の楽校)	鳥の習性について学び、水辺に集まる冬鳥の観察を行うことを通して、身近な野鳥への興味を高める。	20組	2月中旬
10	【新規】ハーブティーを楽しもう！	ハーブの育て方や利用方法、楽しみ方を体験することを通して、植物の効用について学ぶ。	10組	5月中旬 11月下旬

(3) 体験教室

大淀川での体験や大淀川流域の素材を活用した体験を通して、大淀川や流域の自然環境に親しむ。(小学生以上を対象)

No.	教室名（開催場所）	内容	定員	実施時期
1	アユの稚魚放流体験 (柳瀬橋下河原)	鮎の稚魚の放流体験を通して、大淀川の魚や環境に親しむ。	20組	5月中旬
2	大淀川釣り教室 (大淀川右岸河口)	簡単な投げ釣りの方法を学び、釣りをを行うことを通して、大淀川やそこにすむ魚に親しむ。	20組	6月上旬
3	身近な昆虫の標本作り (実験・工作室)	採集したチョウやトンボなどを使って標本を作ることを通して、流域に生息する昆虫に親しむ。	20組	6月下旬
4	石の工作 (実験・工作室)	大淀川の石を使っていろいろなオブジェを作ることを通して、大淀川の岩石に親しむ。	20組	7月上旬
5	貝殻の工作 (実験・工作室)	貝殻を使っていろいろなオブジェを作ることを通して、大淀川河口に生息する生物に親しむ。	20組	8月中旬
6	カヌーにチャレンジ (大淀川 天満橋下流左岸)	小学校4年生以上を対象に、大淀川でカヌー体験をすることを通して、大淀川に親しむ。	15組	8月下旬
7	ミツロウキャンドル作り (実験・工作室)	ミツバチの巣からミツロウを取り出し、キャンドルを作る。	20組	12月中旬
8	カラー魚拓に挑戦しよう (実験・工作室)	カラー魚拓を制作することを通して、魚の体のつくりなどを観察し、大淀川にすむ魚に親しむ。	20組	12月下旬
9	シイタケの種駒打ち (里山の楽校)	シイタケの栽培を通して、川と人との関わりが深い里山に親しむ。	20組	3月中旬

(4) 園児教室

幼稚園、保育所の園児を対象に、動植物に関する観察や工作を通して、生き物に対する関心を高める。(宮崎市及び周辺2町の幼稚園、保育所対象)

11月～2月の4か月間に26回をめぐりに実施する。時間は10:30～11:30とする。

5 イベント事業

(1) 季節のイベント

連休や学校の休業日を利用して、学習館の利用を促進するとともに、自然に親しみ、水環境問題解決のための活動を行う。

	イベント名	内容	対象・定員	実施時期
春	グリーンアドベンチャー (水辺の楽校)	植物に関する問題に答えながら自然観察を楽しむ。	どなたでも 先着100名	4月中旬
春	ミニつり大会 (本館池周辺)	特設の池で、発泡スチロールでできた魚を釣って楽しむ。	小学生以下 先着100名	5月上旬
夏	ザリガニ釣りイベント (本館池周辺)	春の企画展最終日に合わせて、特設の池でザリガニ釣りを楽しむ。	小学生以下 先着200名	6月中旬
夏	カブトムシ・クワガタムシのクイズ大会 (レクチャー室)	カブトムシ・クワガタムシに関するクイズを楽しむ。	小学生 先着100名	7月下旬
夏	魚つかみに挑戦! (本館池周辺)	特設の池に泳ぐニジマスをつかんで楽しむ。	小学生以下 先着200名	7月下旬
夏	カブトムシ・クワガタムシのすもう大会 (レクチャー室)	飼育しているカブトムシ・クワガタムシを持ち寄り、すもうを楽しむ。	どなたでも 先着100名	8月上旬
夏	小魚すくい (本館池周辺)	金魚すくいの要領で、タナゴやメダカ、フナの稚魚すくいを楽しむ。	小学生以下 先着200名	9月中旬
秋	【拡充】 魚つかみに挑戦! (本館池周辺)	特設の池に泳ぐアユをつかんで楽しむ。	小学生以下 先着200名	9月下旬

秋	大淀川ウォークラリー (大淀川河川敷)	大淀川河川敷で、クイズやごみ拾いをしながらウォークラリーを楽しむ。	どなたでも 先着 100 名	10月下旬
秋	【新規】 フリスビー大会 in 水辺の楽校	水辺の楽校で世界一よく飛ぶフリスビーを使って遠くまで飛ばす競技を楽しむ。	小学生以下 先着 100 名	10月下旬
冬	昆虫輪投げ大会 (レクチャー室)	チーム対抗で、昆虫が描かれた的を狙い輪投げを楽しむ。	どなたでも 先着 50 組	1月中旬
冬	大淀川学習館検定 (レクチャー室)	大淀川や大淀川学習館に関する検定に挑戦する。	小学生以上 先着 50 名	2月中旬
春	【新規】金魚すくいにチャレンジ (本館池周辺)	金魚すくいを楽しむ。	小学生以下 先着 200 名	3月中旬
春	【新規】ザリガニ釣りにチャレンジ (本館池周辺)	春の企画展の予告として、特設の池でザリガニ釣りを楽しむ。	小学生以下 先着 200 名	3月下旬

(2) ふれあいウィークエンド

土曜日を中心に、簡単な工作を通して、動植物や環境に対する関心を高める。(対象はどなたでも。ただし、小学生未満は保護者同伴)

No.	イベント名	内容	定員	実施時期
1	ミニ鯉のぼりを作ろう	紙を使って小さな鯉のぼりの飾りを作る。	40名	4月下旬
2	七夕飾りを作ろう	紙を使って小さな七夕飾りを作る。	40名	7月上旬
3	お正月飾りを作ろう	紙を使って小さなお正月飾りを作る。	40名	12月下旬
4	てんとう虫マグネットを作ろう	発泡スチロールを使い、てんとう虫や好きな昆虫をデザインし、冷蔵庫などに取り付ける飾りのマグネットを作る。	40名	5月下旬 7月 下旬 9月下旬

5	季節の花で押し花かざりを作ろう	里山の楽校に自生している植物の花を使って、押し花かざりを作る。	40名	5月上旬
6	植物でウェルカムボードを作ろう	木の板と草花を使って、ナチュラル感あふれるウェルカムボードを作る。	40名	10月上旬
7	ハイドロカルチャーにチャレンジ	水耕栽培について学び、自宅で栽培できるハイドロカルチャーを作る。	40名	2月下旬
8	紙コップを使って遊ぼう	紙コップを使って、回転しながら飛ぶおもちゃやパクパク人形などを作って遊ぶ。	40名	4月中旬 10月下旬
9	木の実でコマを作ろう	どんぐりの実を使ってコマを作る。	40名	11月下旬 12月上旬 1月中旬
10	バランストンボを作ろう	紙を使って、トンボの形をしたやじろべえを作る。	40名	6月中旬 3月下旬
11	タネ模型を飛ばそう	紙を使って、風で運ばれる種の模型を作り、飛ばす。	40名	6月下旬 8月下旬
12	針金アメンボを浮かせよう	針金を使って水に浮くアメンボを作る。	40名	9月中旬 11月上旬 3月上旬
13	葉っぱで遊ぼう	里山に自生している植物の葉を使って、おもちゃを作る。	40名	5月下旬 9月上旬 1月下旬

6 その他

○ 情報提供と広報活動

時期に応じ、学校、幼稚園・保育所、高齢者福祉施設等に企画展示のポスター・チラシ等の案内を送る。さらに、ホームページの充実、ウェブログ（ブログ）の更新を常時行い、新鮮な情報提供に努めるとともに、館周辺の通行者が情報を得られるよう、看板や掲示版を設置する。

○ 他館との連携

夏の3館合同による「科学・歴史・自然 どっぷり体験合宿」について、宮崎科学技術館及び宮崎市歴史資料館との事業連携により横断的に業務推進する。

通常の団体用プログラムではなく、学習館の展示物を活用した自由研究など特別プログラムの実施に努める。

○ 各種関係団体やボランティア等とのさらなる連携と活用

開館当初からの協力団体である宮崎自然愛好会やホテル保存会を始め、宮崎内水面漁業協同組合、宮崎市カヌー協会、日本野鳥の会、地域団体、元当館職員などの多くの関係団体や、国土交通省や県、市などの関係機関との協力・連携を得ている。

今後も引き続き協力・連携を深めるとともに、動植物等に関し高い見識を有する人材やボランティア等の積極的な活用と、連携強化による事業拡充に努める。

平成25年度宮崎市民プラザ事業計画書

【基本方針】

宮崎市民プラザは、平成12年8月に市民が「集い」「学び」「交流する」ことを目的として建設された複合文化施設であることから、市民の多彩な生涯学習意欲や文化の振興を支える拠点として、平成25年度は、安全で安心して利用でき実態に即したサービスの向上に努める「貸館事業」と、市民文化の更なる向上を図る「自主事業」について以下の事業を重点的に実施する。

【事業概要】

1. 貸館事業

インフォメーションモニターの充実による広報の強化として、効果的な広報活動を行うため、液晶モニターを導入することにより、施設及び自主事業の知名度アップを図るとともに、協会管理施設の広報についても取り組む。

また、利用者ニーズに応える施設の整備として、経年劣化によって、利用者の様々なニーズに対応できない機器（プロジェクター）等を入れ替えることにより、利用者の満足度を上げる。また、安全で安心して利用していただくための施設整備を引き続き行っていく。

2. 自主事業

市民に国内外の優れた舞台芸術を気軽に鑑賞できる機会を提供し、宮崎の文化振興を図るという趣旨のもとに7事業を展開する。

公益目的事業の更なる推進として、各界の著名な文化人による「文化講演会」や「未就学児のための音楽会」を新規事業として取り組むとともに、地域活性化への貢献として「子どものための文化芸術体験プログラム」に引き続き取り組み、子どもたちの文化芸術に対する関心を高めるとともに、文化芸術体験を通して子どもたちの心豊かな感性を育む。

また、公演の実施にあたっては、公演に係る知識や文化を学び、公演をより深く鑑賞できるようアウトリーチやワークショップを併せて実施する。

【具体的な事業計画】

自主事業

No	事業名	実施日	会場
1	市民プラザコンサート	8月	オルブライトホール
2	市民プラザ寄席 ・二人会落語 ・ワークショップ	9月	オルブライトホール 市内小学校等
3	宮崎・音のスケッチブック ～秋のヒーリングコンサート～	10月	橘公園噴水広場 (宮崎市民プラザ前) ※雨天時オルブライトホール

4	第12回みやざきザハール・ブロン音楽祭 ・アウトリーチ ・小中学生のための演奏会 ・ヴァイオリンセミナー～公開レッスン～ ・スペシャルコンサート	12月	オルブライトホールほか
5	【新規事業】 未就学児のための音楽会	1月	オルブライトホール
6	【新規事業】 文化講演会	2月	オルブライトホール
7	子どものための文化芸術体験プログラム (アウトリーチ事業)	年4回	市内小中学校等

1. 市民プラザコンサート

市民に宮崎市民プラザへ気軽に足を運んでもらうため、宮崎出身や宮崎を中心に活動している演奏家の表現の機会を創出するなど、趣向を凝らしたホールコンサートを開催する。

2. 市民プラザ寄席

市民に古典芸能の落語に親んでもらうため、本県出身で落語家の桂 歌春と人気落語家による二人会を開催する。このほか、学校等へ出向いての落語教室（ワークショップ）も併せて実施する。

3. 宮崎・音のスケッチブック～秋のヒーリングコンサート～

宮崎出身や宮崎を中心に活動している演奏家の表現の機会を創出するとともに、市民に屋外でさわやかな音楽を楽しんでもらうため、橘公園噴水広場で幅広いジャンルの音楽を提供するコンサートを開催する。 ※雨天時は、オルブライトホールで開催

4. 第12回みやざきザハール・ブロン音楽祭

世界一流の演奏鑑賞の機会を提供して本市の音楽文化の向上を図るため、宮崎県出身の作曲家 故寺原伸夫と深い親交があり、ヴァイオリニストであるとともにヴァイオリンの指導者としても世界的レベルの人材を数多く育成しているザハール・ブロン氏を招聘し、音楽祭期間中に、市民や小中学生を対象とした演奏会のほか、ヴァイオリンセミナー（公開レッスン）や学校等へのアウトリーチ（出前演奏）を実施する。

5. 未就学児のための音楽会

音楽を通した子どもの情操教育の機会提供を目的に、0歳児から未就学児及びその家族を対象に、童謡演奏や読み聞かせなどの子ども向けプログラムで構成した1時間程度の公演を実施する。

6. 文化講演会

市民の文化振興を図り、創造性豊かな文化のまちづくりに寄与することを目的に、各界の著名な文化人による文化講演を開催する。

7. 子どものための文化芸術体験プログラム（アウトリーチ事業）

子どもたちの文化芸術に対する関心を高めるとともに、文化芸術体験を通して子どもたちの心豊かな感性を育むことを目的に、文化芸術団体等を学校へ派遣して多彩な体験プログラムを提供する。